

進路新聞

第10号



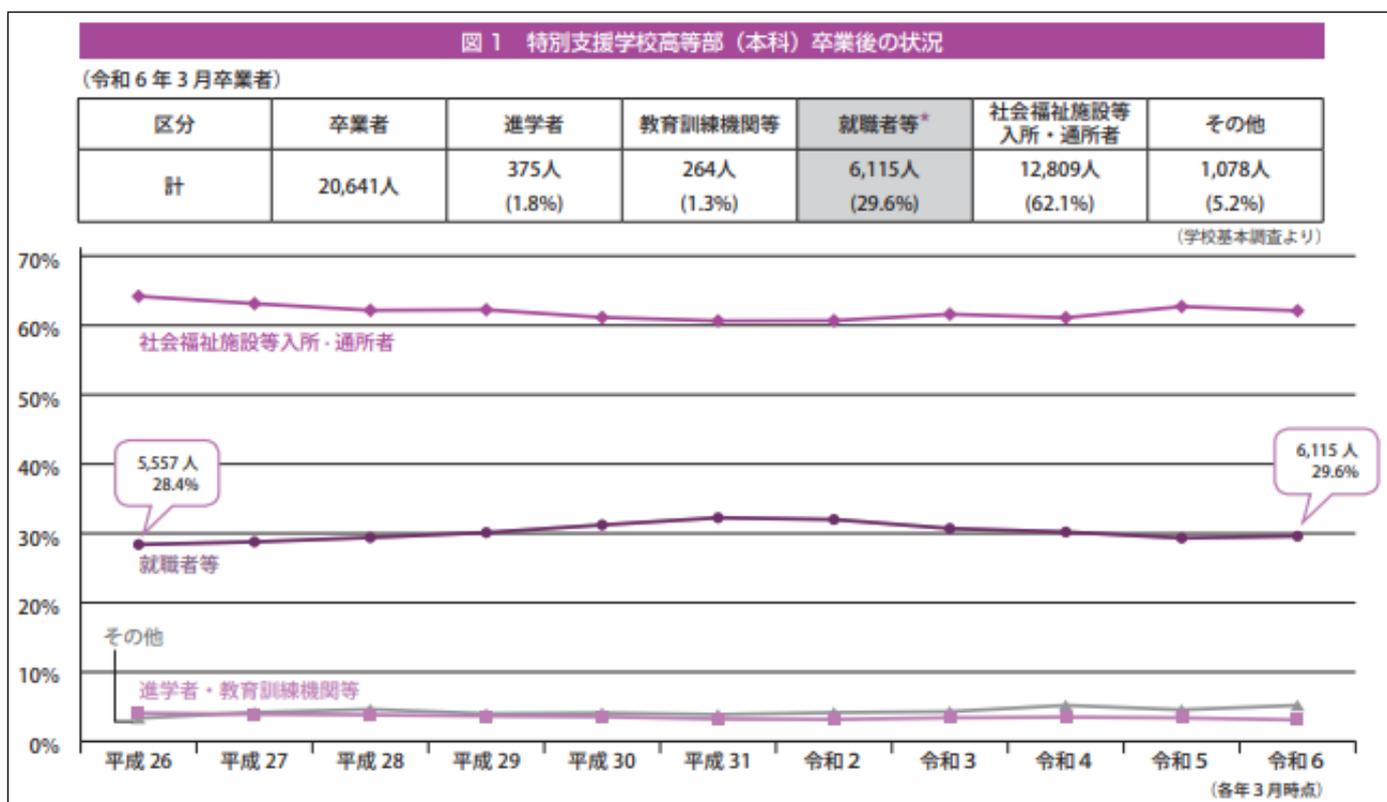
発行日：令和8年3月6日

編集&発行：希望が丘高等特別支援学校
進路指導部

◆特別支援学校等における就労支援

文部科学省から発表されている『特別支援学校高等部の卒業後の状況（令和6年度3月卒業生）』が、下記の資料となります。手帳を所有する特別支援学校高等部の卒業生が生涯にわたって自立し社会参加をするためには、職業的な自立を目指すことが重要となります。しかし、全国の動向として、高等部卒業生（20,641人）における就職者の割合は約3割（6,115人）となっています。

国の就労対策としては、労働局やハローワーク等において特別支援学校との連携をさらに強化するように通知が出されたり、新たな障害福祉サービスとして就労選択支援（令和7年10月）が開始されたりしています。



独立行政法人JEEED「働く広場（2025年9月号）No575」p26から一部抜粋

全国では、就職者数の割合が約3割という状況のなか、本校の就職者数は、下記の表のとおり、約9割（過去5年間の平均）と高い割合となっています。本校は、県内の特別支援学校の中でも一般就労を目指している生徒が多いことが特色の一つとして考えられます。社会参加をするために、引き続き、卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を行い、社会の一員として活躍できる人材となるように「働く力」を養っていきたいと考えています。

今後とも生徒の夢の実現に向けて、進路指導へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【本校の過去5年間における就職者数】

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
就職者数 (卒業数に対する割合)	24人 (約89%)	21人 (100%)	27人 (約87%)	27人 (約93%)	26人 (約93%)